

ECMの最新事情

ECM: Enterprise Content Management



シンコム・システムズ・ジャパン株式会社

石村 弘子

平成26年1月18日

目次

1. 自己紹介&会社紹介
2. ECMとは
3. Cincom ECM

会社紹介 Cincom Systems

- 1968年創業のソフトウェア開発企業のパイオニア
- 世界16ヶ国に40拠点
- プライベート企業(非上場)
- 主な事業



United States

- ① アプリケーション開発環境
- ② 複雑系の業務システム開発
- ③ ERP、CRM、ECM製品など



Japan



United Kingdom



Switzerland



Belgium



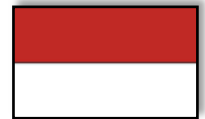
Canada



Netherlands



Spain



Monaco



Australia



Brazil



France



India



China



Germany



Italy

会社紹介 Cincom Systems Japan

- ・ 日本法人は1976年創業、37年の経営実績
- ・ 上場企業を中心に約400社の顧客ベース
- ・ メインフレーム向け製品からWeb系の各種パッケージ製品まで
- ・ ヘルスケア クラウド対応への展開（2008年4月から開始）
- ・ Cincom ECMの販売開始（2012年6月）



シンコム・システムズ・ジャパン石村と黒岩知事

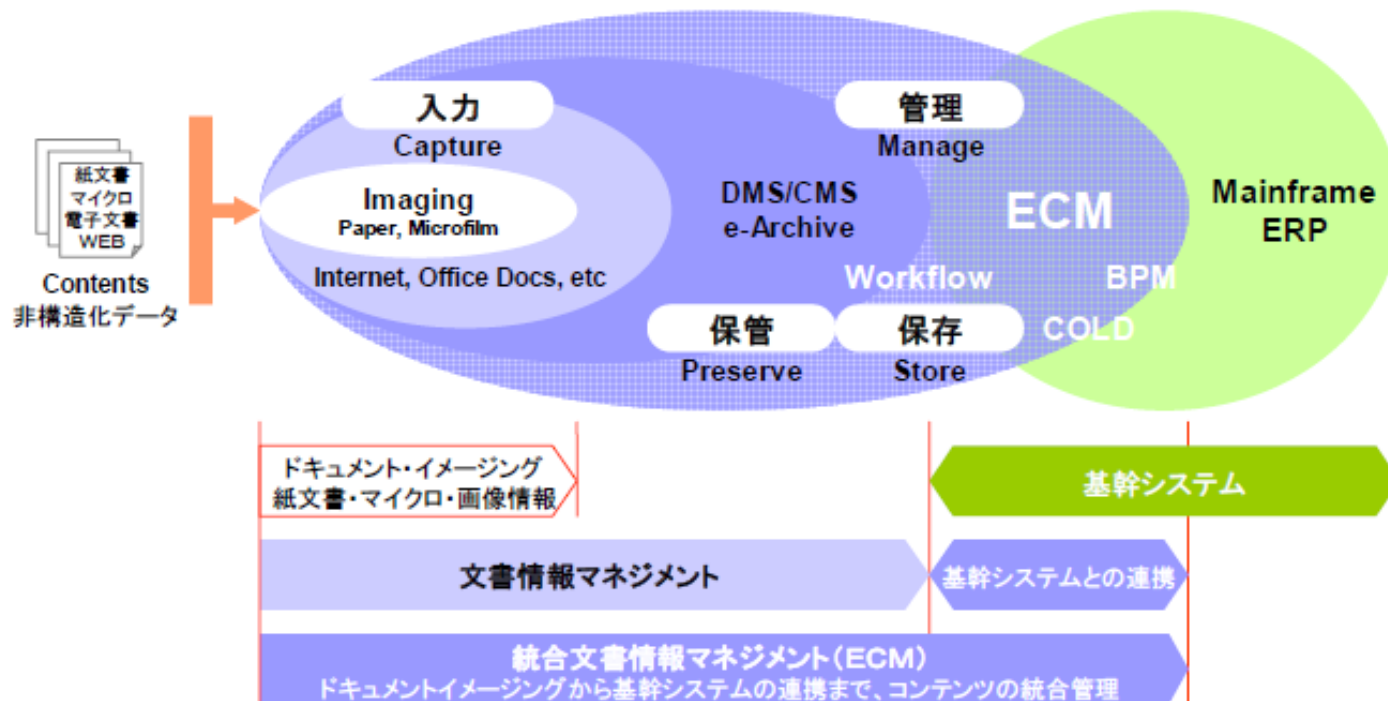


Cincom ECM発売発表会の様子(2012年5月25日)

ECMについて

統合文書情報マネジメント(ECM)の定義(JIIMA)

- 電子化文書(イメージ文書)や電子文書など企業の情報資産であるコンテンツのライフサイクルを一元的に管理する機能を提供する全社的な情報共有と基幹システムと連携した運用・管理を実現する統合的な文書情報マネジメントのフレームワークを統合文書情報マネジメント(ECM)フレームワークと定義している。



ECMの3つの顔

・ 統合的なミドルウェアとしてのECM

- ・ 従来の縦割りアプリケーションと孤立した構造の打開
- ・ Webベースの新しい情報基盤の提供(EAI,SOAは重要な役割)

・ 独立したサービスとしてのECM

- ・ 情報の出処や利用目的によらずその情報を管理
- ・ 全ての種類のアプリケーションから利用できるサービス形式
- ・ 複数の異なるサービスに1か所からアクセスできる標準的なインターフェースの提供

・ あらゆる形式の情報がひとつのリポジトリに保管できるECM

- ・ コンテンツの保管場所、情報ライフサイクル管理が重要

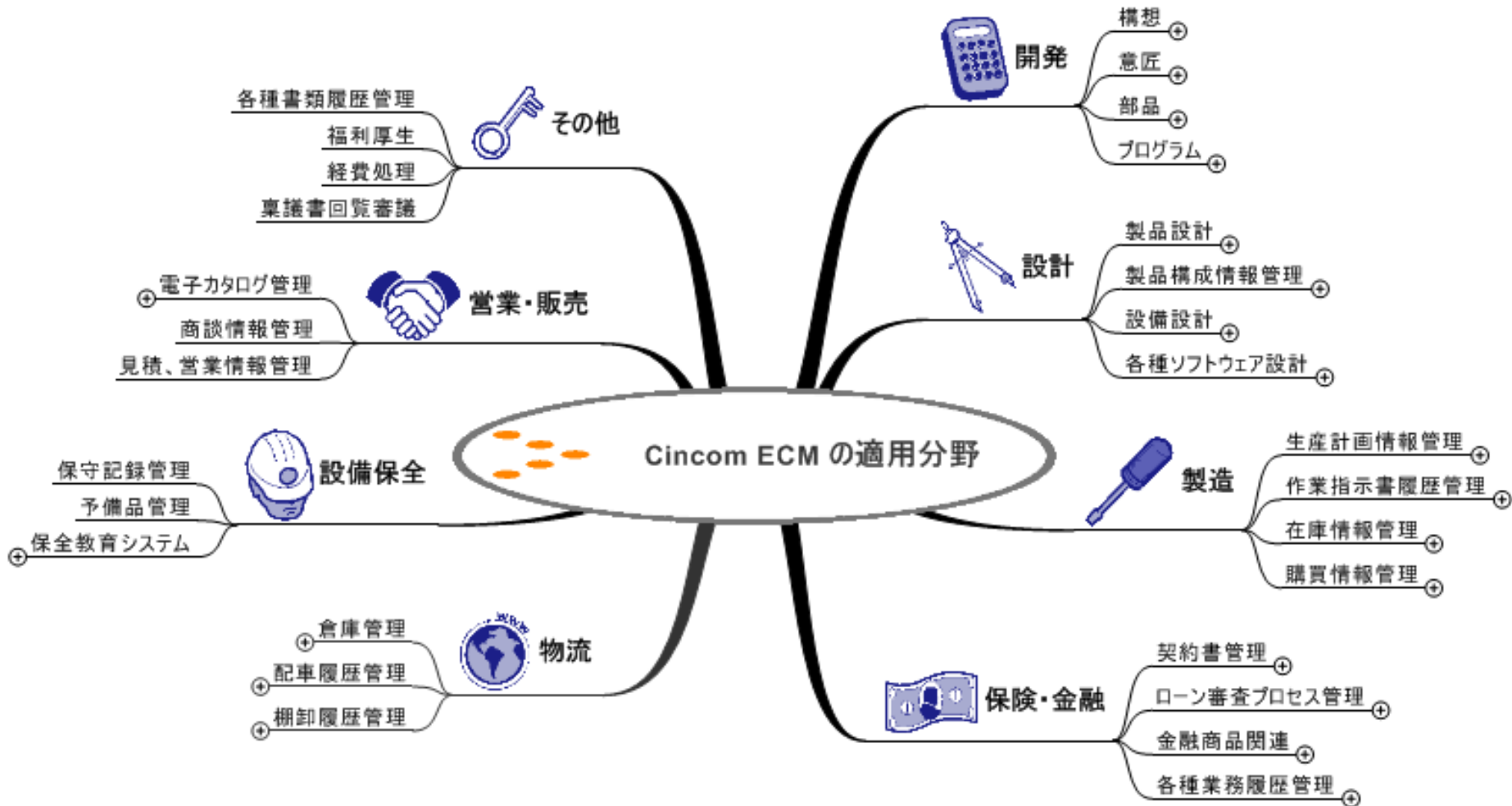
- ・ 出展:ウィキペディア エンタープライズ・コンテンツ管理
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%97%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%82%BA%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%86%E3%83%B3%E3%83%84%E7%AE%A1%E7%90%86>

統合文書情報マネジメント(ECM)の特徴

- ・ **統合文書情報マネジメント(ECM)の優位性**
 - ・ 全社規模の導入(将来的な拡張予定を含む)
 - ・ 情報を一元管理するコンテンツ・インフラとしての利用
 - ・ 管理対象は業務関連文書(完成文書)に限らず、オフィス文書、メールや音声データなども含める
 - ・ 他システムとの連携性が高い(ERP などの構造化データとの連携)
- ・ **統合文書情報マネジメント(ECM)は、旧来からある文書情報マネジメントに企業全体の情報を一元管理するコンテンツ・インフラとして機能、法制度への対応やコンプライアンスへ対応などの必要な要素を加えて発展させたものとなる。**



Cincom ECM の適用分野(例)



Cincom ECM が求められる背景

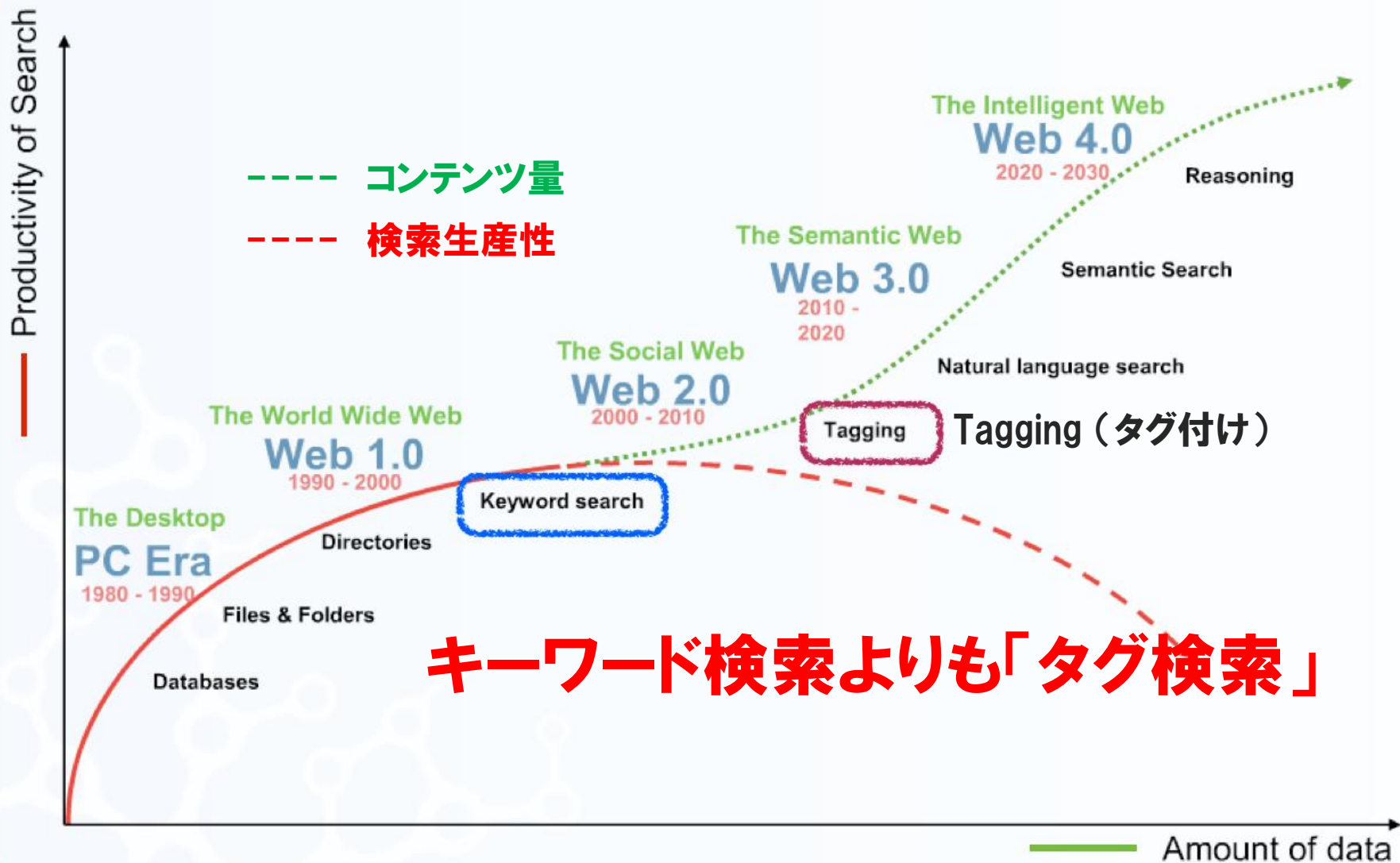
欧米の多くの企業でECM導入が進められている背景として、膨大に増えている業務文書による業務効率の低減がある。競合他社との競争に打ち勝っていくためにも、コンテンツマネジメントは企業にとっても最重要なICT課題となっている。



AIMMとFord Motorの研究ではナレッジワーカーたちは就労時間の15%~25%を「何かを探しているような」非生産的な情報関連の業務に費やしている。

出典: IDC The High Cost of Not Finding Information

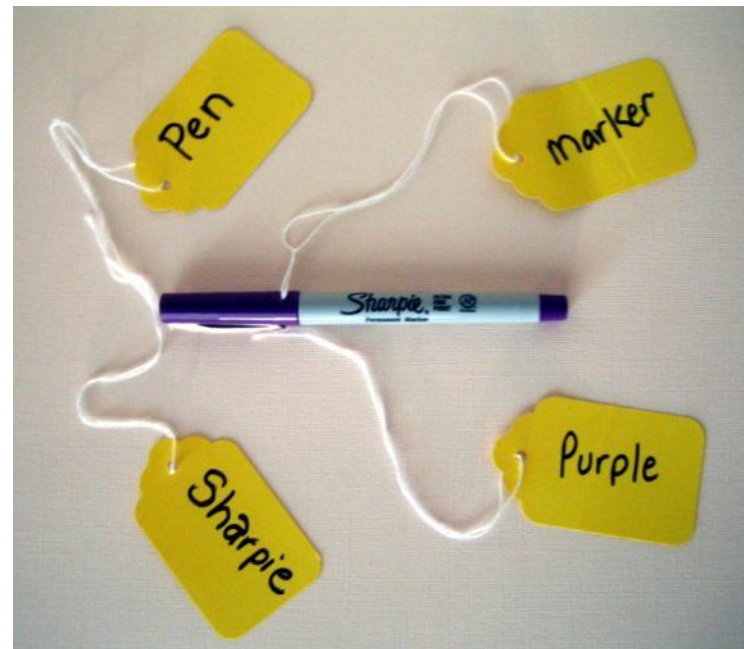
いま、注目されている「タグ付けとタグ検索」



キーワード検索よりも「タグ検索」

タグ付けとそのメリット

コンテンツにタグを付けるメリットは事業部ごと、部門ごと、担当者ごとに「既に用意されたタグ」を付与することで、コンテンツの整理、分類を包括的に行い、さらにそれによる妥当性の高い検索機能を得られます。



【例】

- ・事業部別の図面、文書の管理コードの付与
- ・社外での運用されている管理コードなどの付与
- ・時間(期間)や地域(国別など)の一次的なタグ付けによる管理
- ・タグ検索による検索結果の妥当性向上と検索生産性向上

「タグ付け機能」を補強する動向

マイクロソフト Office2013の例(その1)

■ マイクロソフト・トゥデイ 第28回

2月7日、ついに発売される「Microsoft Office 2013」

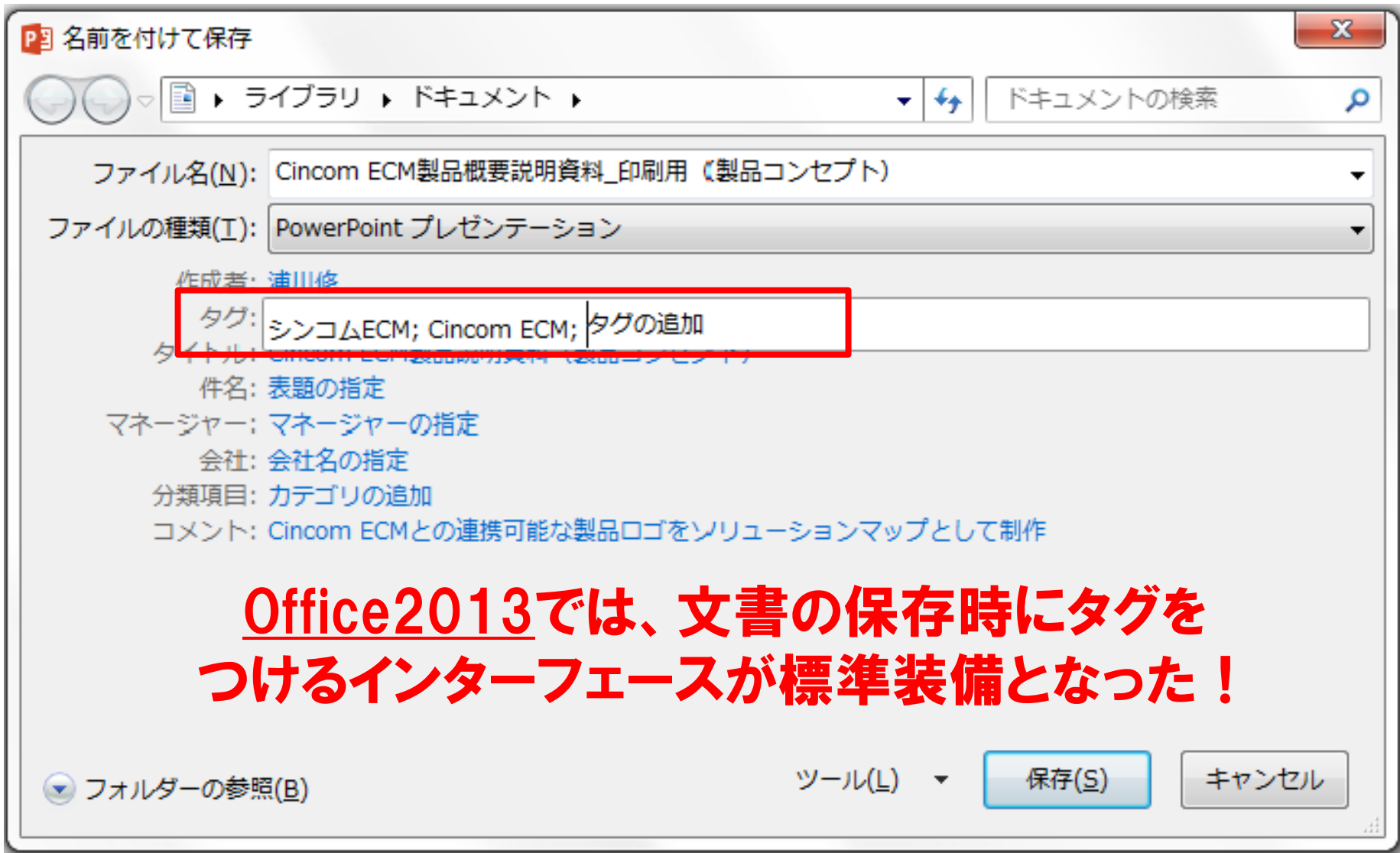
2013年01月17日 11時00分更新 文● 大河原克行

BI 3 | いいね! 29 | ツイート 18 | g+1 2 | 本文印刷



日本マイクロソフトは、次期Officeとなる「Microsoft Office 2013」のパッケージ製品を、2013年2月7日に発売すると[正式発表した](#)。

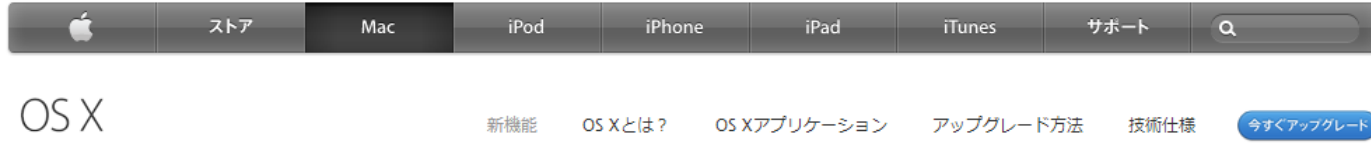
また、Office 2013を搭載したプレインストールPCも、2月7日以降に、PCメーカー各社から発売される。これにより、PCの2013年春モデルは、最新Officeを搭載した形でラインアップされることになる。



Office2013では、文書の保存時にタグをつけるインターフェースが標準装備となった！

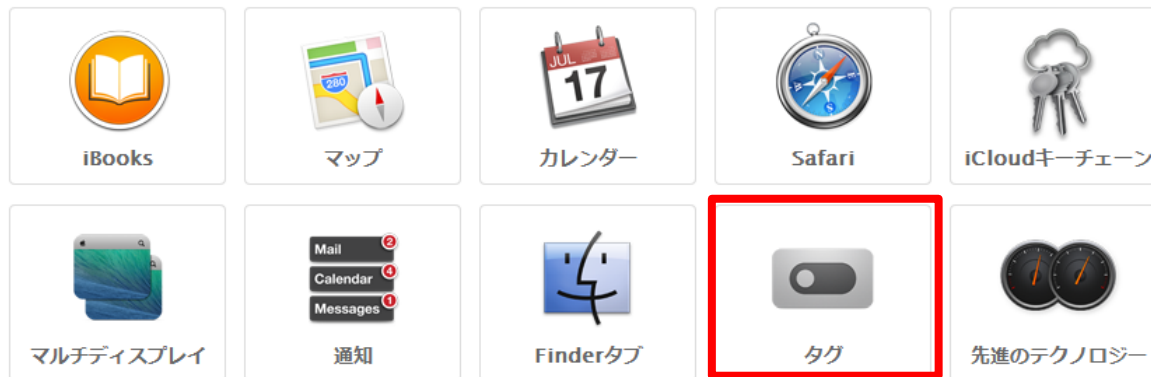
「タグ付け機能」を補強する主要企業の動向

アップル MacOSでもタグ付けが基本機能に



OS X Mavericksの新機能。

デスクトップ用の新しいアプリケーションの数々、使うのが楽しくなる様々な機能、そして消費電力を抑えながら、Macのパフォーマンスをさらに高めるためのテクノロジーを搭載。OS X Mavericksで、Macでの体験が一段と優れたものになります。



<https://www.microsoft.com/ja-jp/enable/products/office2013/default.aspx>



タグ

どこにファイルをしまっても、きちんとまとめておけます。

タグは、ファイルを整理して簡単に見つけられるようにする、パワフルな新しい方法です。iCloudに保存されている書類でも使うことができます。使い方は実にシンプル。まとめておきたい複数のファイルに、「重要」などのキーワードをタグとしてつけるだけです。それらのファイルが必要になったら、Finderのサイドバーにある「重要」をクリックするか、検索フィールドにこのキーワードを入力して検索しましょう。同じタグがついたファイルは、違う場所に保存されていても、すべて一つのFinderと一緒に表示されます。ファイルにつけるタグは一つでもいいですが、複数のプロジェクトで使う場合は複数つけておくと便利です。例えばイベントを企画している場合、Numbersに保存した招待客リスト、Pagesで作成したチラシ、Keynoteで作成したプレゼンテーションに同じタグをつけておくと、それらのファイルをワンクリックですべて一度に表示できます。

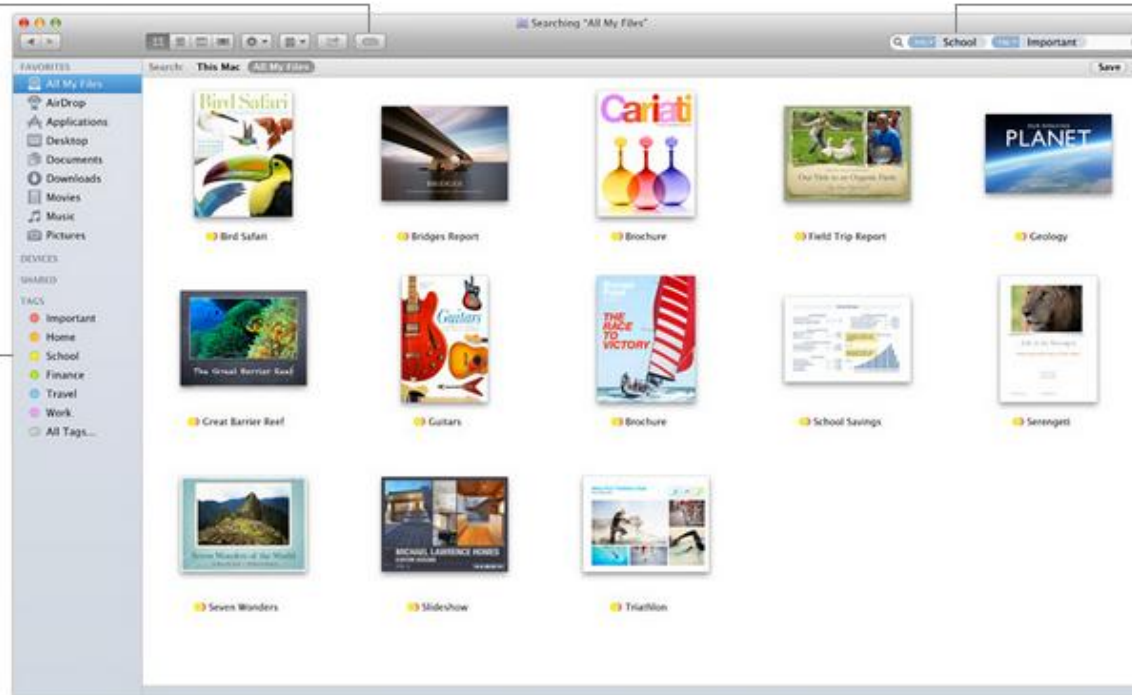
Finderのタグ

書類のタグ

iCloudのタグ

クリックしてタグをつける
新しいタグ名を作成するか、既存の名前を使います。

タグのリスト
タグを選んでクリックするだけで、タグ付けされているすべてのファイルを表示できます。



タグで検索する
Finderに入力するとタグトークンが表示されま

ECM

- **ECM:Enterprise Content Management**
- **コンテンツ**
 - **構造化データ**
 - **非構造化データ**
- **タグ検索**
- **関連付け**

- **ECMポータル(JIIMA作成)**
<http://www.ecm-portal.jp/down/index.html>

Cincom ECM



A next generation content management solution
for **collaborative creation**.

シンコム・システムズ・ジャパン株式会社

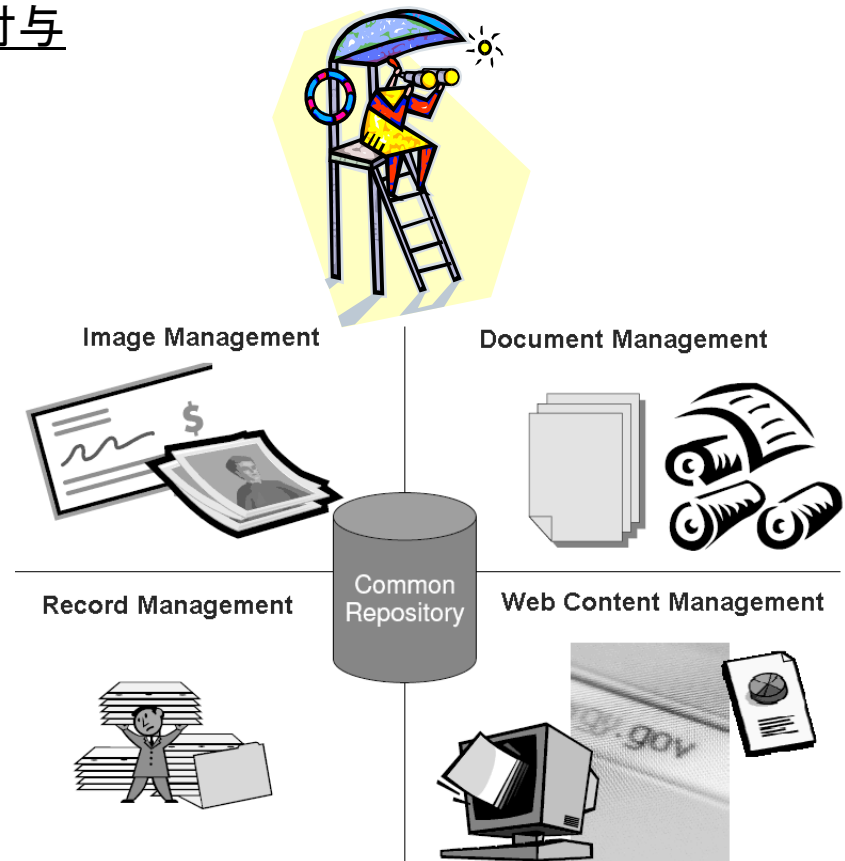
<http://www.cincom.co.jp/>

次世代型文書管理システム Cincom ECMについて

Cincom ECM 機能概要（次頁以降にてご説明）

- ① オープンソースを利用した普及している一般的な技術を採用
- ② Web上に設置したレポジトリによるコンテンツ管理を可能
- ③ コンテンツへのプロパティ(タグ)情報付与
- ④ コンテンツの版管理
- ⑤ グループ管理、ユーザ管理
- ⑥ ワークフロー管理
- ⑦ 各種コンテンツの関係付け
- ⑧ 日・英・仏・スペイン・ポルトガル対応
- ⑨ 外部からの連携可能
 - EIP製品との連携(Liferay)
 - WebDAV（分散ファイルシステム）
 - Office連携
 - 各種開発環境(APIを公開)

製品カタログを
参照ください。



国内導入事例

クラウド上に設置したCincom ECMを利用して、複数企業間でのコンテンツのやり取り、管理を実現した事例

導入事例紹介:日本プロジェクトマネジメント協会様

Cincom ECM導入目的は「専門書の制作業務」の効率化です。

導入効果としては、様々な企業(エンタープライズ)に所属する多くの執筆者から送られる各種原稿(コンテンツ)を効率良く管理(マネジメント)する環境がクラウド上に短期、低コストで構築できた事です。以下にその他の導入効果の概要を示します。

【導入効果】

- ・ 常に最新の版に対して修正でき、原稿の先祖かえり防止(作業ロスの解消)
- ・ 原稿を更新した場合、システムがそのコンテンツの新旧管理を自動的(手動でも可)に管理
- ・ 旧版原稿も含めて、すべての作成したコンテンツが一元管理され、いつでも検索(中身も)、閲覧が可能になった
- ・ 事務局側の業務効率アップ:複数(40名)の執筆者の執筆状況(進捗管理)がいつでもECM上で確認できる

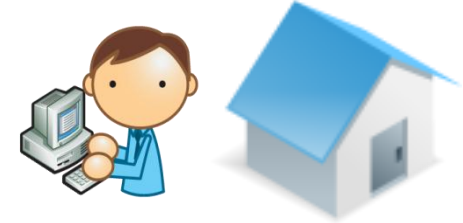
Before: 今までの書籍制作業務の流れ

日本プロジェクトマネジメント協会



- ・ 執筆マニュアルや素材の提供と管理
- ・ 執筆担当者から送られてきた原稿の取りまとめ
- ・ チェックをした原稿の返信

第1部第1章担当者



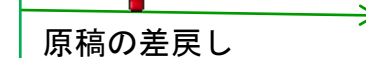
原稿 第5版



修正した原稿（第10版）（郵送）



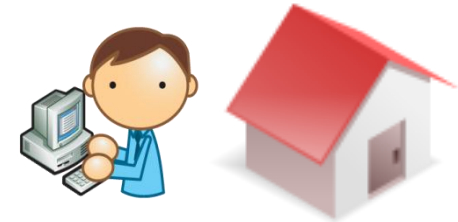
原稿の差戻し



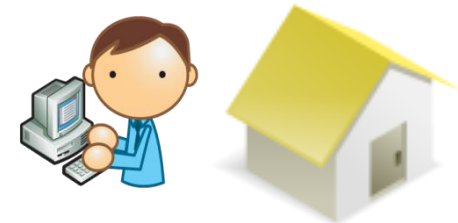
引用したグラフ



第1部第2章担当者



第2部第1章担当者



- ・ **担当部分**を執筆し事務局に送付
- ・ 使用した外部の引用文献の連絡

当社ホームページでの利用

・ Word PressのPlug-inを提供

The screenshot shows the Cincom website interface. At the top, there is a navigation bar with links for Home, ソリューション, 製品・サービス, シンコムについて, ニュースルーム, 事例, イベント情報, 連載企画, and お問い合わせ. Below the navigation bar, there is a search bar and a "最新情報" (Latest Information) section. The main content area is divided into three sections, each with a document download option:

- Cincom Acquire**: A document titled "CincomAcquire(SC4SAP)カタログ.pdf" is available for download. The download button is highlighted in green.
- Cincom ECM**: A document titled "CincomECM_カタログ.pdf" is available for download. The download button is highlighted in green.
- Cincom ECM製品概要説明資料.pdf**: A document titled "Cincom ECM製品概要説明資料.pdf" is available for download. The download button is highlighted in green.

Each document entry includes a PDF icon, the document title, a description, and a "ダウンロード" (Download) button. The download buttons for the first two documents are highlighted in green.

【当社の資料請求ページの例】
文書管理システム（CincomECM）
内で制作管理されたコンテンツ
が別システムである当社のホーム
ページ上（wordpress）で資料と
してダウンロード可能
←緑の枠内がCincomECM

Cincom ECM内の資料請求ページ用コンテンツ

検索...

参照

ワークスペース

Personal Folders

Public Folders

Template Folders

wordpress test

代理店様向け共通

資料請求

Cincom Acquire

Cincom ECM

Cincom Knowledge Builder

Cincom Synchrony

Intelligent Customer Scripting

ヘルスケア

メインフレーム関連製品

ドキュメント (7)

検索

タスク

ドキュメント / Public Folders / 資料請求

ドキュメント	バージョン	作成者	変更日
Cincom Acquire	1.0	admin	2013年12月9日 月曜日 11:35
Cincom ECM	1.0	admin	2013年12月9日 月曜日 11:19
Cincom Knowledge Builder	1.0	admin	2013年12月9日 月曜日 11:20
Cincom Synchrony	1.0	admin	2013年12月9日 月曜日 12:37
Intelligent Customer Scripting	1.0	admin	2013年12月9日 月曜日 11:37
ヘルスケア	1.0	admin	2013年11月27日 水曜日 16:52
メインフレーム関連製品	1.0	admin	2013年12月9日 月曜日 11:55

ページ 1 / 1

表示 10 項目

プロパティ

Cincom Acquire フォルダ

説明:

【当社の資料請求ページの例】

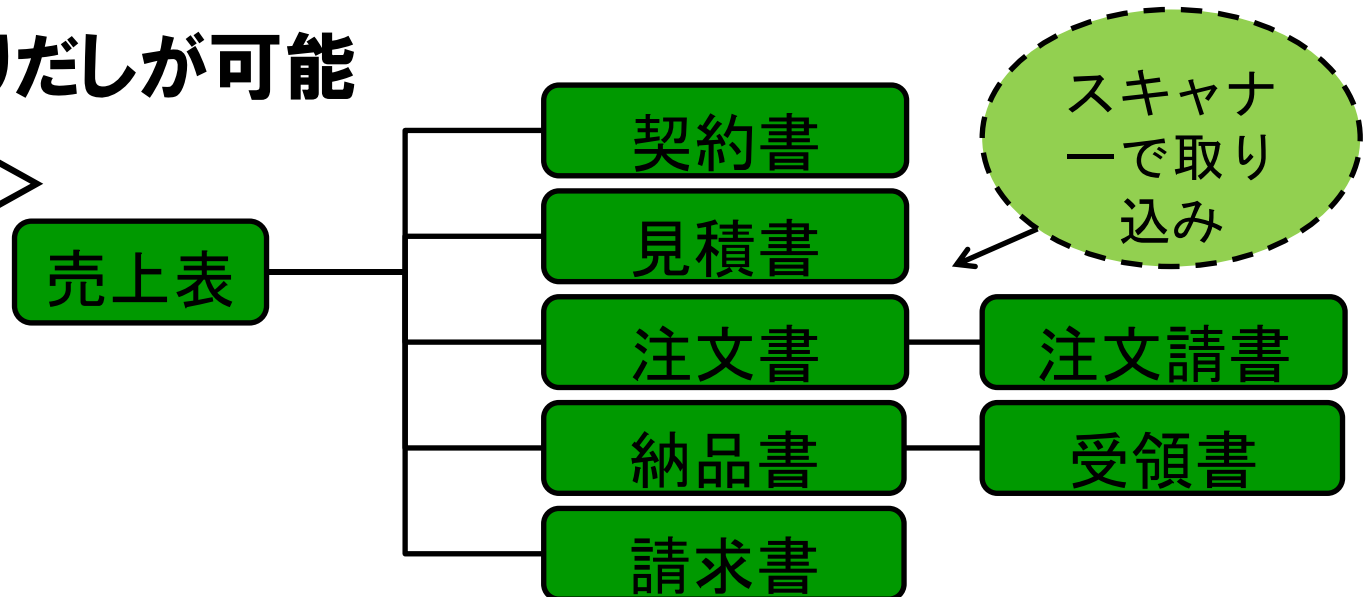
ホームページ担当者と資料作成者が違っていても問題なく、最新の資料がHPでダウンロード可能となります。

実際の商談こぼれ話

電子キャビネットを利用すると

- ・ 手続きに必要な数種類の書類の構造を定義
- ・ 中身がそろっていないと一目瞭然
- ・ 何かファイルがアップロードされるとアラート発信
- ・ 承認ワークフローを実行
- ・ これらのファイルは一枚の売上表に関連付けされる
- ・ 一連で取りだしが可能

<例>



Cincom ECM



A next generation content management solution
for **collaborative creation**.

シンコム・システムズ・ジャパン株式会社

<http://www.cincom.co.jp/>